

自治会の課題と改善策について

伊藤 勝美



〔質問〕自治会長は任意団体の代表であるが役割・責任は何か。また自治会の在り方を市民に

どのように説明しているのか、現状と課題を伺う。

〔答弁〕〔総務課長〕自治会長は、自治会の代表として組織を統括し、地域課題の解決、広報紙の配布など行政との連携、住民間の交流促進を担うリーダーであり、防災防犯活動の推進など、安全・安心な生活環境整備を実現するための重要な役割・責任を担っています。

自治会の在り方については、広報で自治会の活

動内容を含めた加入促進の記事を掲載している。また、自治会連合会との連名によるチラシを転入手続きの際に配布し、自治会活動の紹介や加入の働きかけを行なっている。

課題は、住民の価値観

の多様化、ライフスタイルの変化などにより、本市の自治会加入率は77・6%で減少傾向にあることから、加入者の確保であると認識している。

〔質問〕ごみ出し・ごみ集積所利用の公平性について、現状認識と今後の形成を伺う。

〔答弁〕〔環境課長〕市内の集積所は、各自治会のルールにより設置および維持管理をしており、自治会加入の有無にかかわらず、市民が排出するごみの回収は行政責

任である。市内の集積所は現在996カ所あり、市が維持管理することは現実的に困難である。今後も設置や修繕に係る支援などを行いながら各自治会に維持管理をお願いしたい。

集積所の利用については「自治会未加入だと利用できない」という相談もあるが、逆に「未加入者の利用やマナー」についての相談も寄せられている。市としては、基本的に集積所を等しく利用いただきたいと考えている。

まずは自治会への加入、もしくは未加入であっても清掃活動への参加や管理経費などの負担など、集積所の利用に向け未加入世帯と自治会で話し合われることをお願いしている。

その他の質問

◎空き地の適正管理について

◎防犯カメラについて

公立刈田綜合病院財政検証と病院経営・保険財政関係について

角張 大治



〔質問〕病院経営と保険財政について、医療提供体制の充実が望ましい一方で、その充実が結果として市民負担の増加につながる可能性を市がどの程度認識しているか、負担者と受益者も異なることから、一段引き上げた議論が求められる。病院経営の安定化と保険財政の影響を踏まえ、市の保健事業が健康意識や行動変容につながるという認識しているのか、またその指標をどう整理しているか伺う。

〔答弁〕〔健康推進課長〕市民の皆さんが健康で安心した生活が送られることは、自分自身の

幸せだけでなく、医療費の増加を防ぎ、若い世代の保険料の負担を軽くすることにつながる。同時に、病院が安定して医療を提供できる基盤にもなる。今後第一予防の促進を行なっていく。

〔質問〕病院経営の収益性向上と、国民健康保険税率抑制のトレードオフや将来の人口減少を踏まえ、公立刈田綜合病院にどのような経営スタンスを求めているのか伺う。

〔答弁〕〔村上副市長〕医療提供体制の充実が医療費の動向に影響を与える一方、税率は医療費のみで決まるものではない。必要な医療を確保しつつ、重症化予防の推進などにより、医療費の伸びの適正化を図ることが重要であると

認識している。

〔質問〕国民健康保険財政の構造的な問題と保険税率の認識について、国民健康保険財政における「高齢化」「被保険者数の減少」「医療の高度化」といった構造的な要因が続く限り、保険税率の引き上げが避けられないという認識なのか伺う。

〔答弁〕〔村上副市長〕国民健康保険財政については、制度として課題があると感じている。一方で、現時点で将来にわたり「引き上げが避けられない」と断定することは難しい。特定健診受診率の向上や重症化予防などの保健事業を着実に進めるとともに、必要に応じて国・県に対して財政支援や制度の改善を求めている。

その他の質問

◎ふるさと納税及び企業版ふるさと納税について